２０１８.１号外

発行者 日本維新の会

発行元 東京都日野市

多摩平２－１２－４

042-848-1908（FAX兼）

www.itohideaki.tokyo

伊東ひであき

新

春

インタ

ビュー

日野市政の課題

日本維新の会は日野市議会議員選挙　（２月１１日告示、２月１８日投票）に新人で元議員秘書の伊東ひであきさんの公認を決定しています。

伊東ひであきさんが調査した日野市政の課題を聞き、身を切る改革で市民サービスを向上させる伊東ひであきさんの決意を紹介いたします。

伊東ひであきさんは日野市の高すぎる下水道料金を指摘。

一覧表で周辺自治体の主な下水道料金を示していますが、日野市の下水道料金がいかに高いかわかります。

４人家族の平均的な使用量で下水道料金を比較したところ、例えば府中市はひと月当たり税込みで８７６円、調布市は１１９３円、立川市が１５４９円です。

では水道料金（上水道）はどうか。

昭島市や羽村市など水道事業を独自に行っている一部の自治体を除き水道料金は同一料金です。

実は水道事業は東京都が行っているので水道料金の地域間格差がありません。

ところが下水道事業は各自治体が行っているため、自治体ごとに料金が異なります。

市民サービスに直結する下水道料金に地域間格差が生じる原因はここにありました。

下水道料金が安い府中市に比べて、表の中で最も高い日野市は、４人家族の平均的な使用量で１カ月１４０２円、　年間で１万７千円も多く下水道料金を支払っていることになります。

この負担感をどう考えるのか。今こそ市民が声を上げるときに来ていると伊東ひであきさんは語ります。

日本維新の会は全国各地で身を切る改革を断行しています。

まずは市長が自身の給与と退職金をカットする。そうすると市議会議員もそれに従う。

市役所の雰囲気が変わり、職員の意識も変わり、やがては行政全体が身を切る改革を実践していきます。

この身を切る改革で生まれた財源を幼児教育の無償化、中学生の塾代助成、私立高校までの授業料実質無償化に充てる自治体が続々と登場しています。

例えば右下の一覧は自治体による高齢者のおむつ代助成額です。

　一覧で明らかなように、伊東ひであきさんは高齢者福祉についても日野市にはまだまだ改善の余地があると話します。

また全国的に当たり前となりつつある中学卒業までの医療費助成についても日野市では昨年１０月から自己負担がなくなりましたが依然として所得制限が課されるなど斬新さに欠けています。

朝日新聞の調査「認可保育園に入りにくい自治体」で多摩地区３位となるなど、日野市には多くの政策課題があります。

伊東ひであきさんはまずは行政が身を切り、そこで生み出されるお金で日野市政を変えていきたいと決意を新たにしています。

高すぎる下水道料金



東京都水道局の情報をもとに伊東ひであきが作成

身を切る改革

高齢者おむつ代助成額（要介護状態により異なる）



©2018　日本維新号外（２０１８．１）

日本維新の会は規制改革政党です。

ここでは日本維新の会が掲げる規制改革・地方分権に対する政策課題１０項目を紹介いたします。

①規制緩和を断行し、新たな民間活力を育成し産業の振興と経済の活性化を図る。

②保育サービス・介護　サービスにかかる各種規制を緩和し、地域の実情に応じた保育・介護サービスが可能となるよう地方に権限を移譲する。

③医療、介護及び保育に関わる事業へ株式会社参入を可能とする。女性が子育てしながら働き続けるため多様な支援サービスを受けることができるよう障壁となる規制を緩和。

④株式会社の農地所有を解禁する。

⑤既得権化している電波の割り当てを競争を原則としたオークション等を活用し、再配分する。

⑥大規模災害時には被災地方公共団体の長に復旧復興についての一部権限を時限的に委譲する。

⑦教育行政について、国と地方の役割分担を見直し地方の判断で適切な体制を選択できるようにする。

⑧社会経済活動に関するあらゆる分野における徹底した規制の撤廃及び緩和のための措置に関する法律を制定し、我が国経済の成長の促進を阻害する規制は原則撤廃、撤廃しないこととする規制に関してはその理由を国会に報告する。

⑨道州制への移行のための改革を推進するため、統治機構抜本改革基本法を制定する。

⑩近い将来予測される東京都周辺の大災害に備え、首都機能のバックアップとして副首都を定め多極分散型国家を実現する。

　日本維新の会は日野市が身を切る改革を断行し、なによりも市民サービスの更なる向上をしていくべきと考えています。

　日本維新の会の政策に日野市民の皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

規制改革・地方分権

日野市議会議員選挙

２月１１日告示

２月１８日投票

日時　１月２８日（日）１２：００～

場所　日野市多摩平２－１２－４

ＪＲ中央線　豊田駅北口　徒歩３分

伊東ひであき

*事務所開きのご案内*

伊東ひであきさん本当の実務家です

伊東ひであき昭和３５年８月２０日生

日野市多摩平在住　妻と長女、長男の４人家族　麻布大学獣医学部卒　農薬会社の研究所(研究員)専門は実験動物学　元議員秘書

日野市多摩平三丁目南自治会 会長 日野市消防団第三分団三部　団員

日野市立第六小学校地域防災会　会長 日野市立第六小学校 評議員

日野市立第四中学校アクションプラン実行委員 日野市立第四中学校 青少年育成会協力

神奈川県立菅高校OB会(菅の根会)会長(平成24年度神奈川県立菅高等学校PTA会長歴任)

＊地域防災対策、少子化・高齢化対策、教育、ペット関連政策に注力

参議院議員・女優

石井

©2018　日本維新号外（２０１８．１）

©2016　石井苗子事務所　国会レポート３号（２０１６．９）